

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：鈴木 克宗

事業名：一般国道365号 梅浦バイパス	事業区分：一般国道	事業主体：福井県
起終点：自：福井県越前町上山中 至：福井県越前町梅浦	延長：2.5 km	
事業概要 一般国道365号は石川県加賀市を起点とし、福井県越前町を經由し三重県四日市市に至る延長約15.6 kmの主要な幹線道路であるほか、越前海岸を縦断する国道305号と丹南地域を連絡し、丹南地域間の交流と連携の強化を図り、広域観光ネットワークを形成する重要な路線である。 梅浦バイパスは、幅員狭小、線形不良の未改良区間を解消し、安全で円滑な交通の確保を目的とした延長2.5 kmの2車線道路である。		
H2年度事業化	H - 年度都市計画決定 (H - 年度変更)	H2年度用地着手
		H3年度工事着手
全体事業費	約46億円	事業進捗率
		91%
計画交通量	6,100台/日	供用済延長
		0.3 km
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.1 (残事業) 1.0	総費用 (残事業)/(事業全体) 40/57億円 (事業費：38/55億円 維持管理費：2/2億円)
		総便益 (残事業)/(事業全体) 41/61億円 (走行時間短縮便益：41/61億円 走行費用減少便益：0/0億円 交通事故減少便益：0/0億円)
		基準年：平成16年
事業の効果等 ・地域ネットワークの構築（大型車すれ違い困難箇所が解消される。） ・災害への備え（緊急輸送道路ネットワーク計画に位置づけ（一次））		
他8項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 国道365号は、丹南地域を結ぶ唯一の幹線道路であり、越前海岸への広域観光ネットワークを形成する重要な道路であり、旧越前町をはじめとする関係旧1町1村の首長で構成される国道365号丹生郡区改良整備促進期成同盟会より早期整備の要望（平成16年10月）を受けている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 現在までの供用区間は事業効果が得られているが、大型車のすれ違いが困難な状況である。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 現在までに0.3 kmを部分供用している。現道に取付くまでの約0.8 km区間について、バイパス工事を進めている。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 工事の進入路が限られ、土質が悪く法面対策や橋梁工事等の施工に時間を要したが、平成17年度には約0.8 kmを供用予定である。残る集落区間については、地域住民の意見や周辺環境への影響を踏まえた計画見直しやコスト縮減策などの検討が必要である。		
施設の構造や工法の変更等 建設発生残土を近隣の他公共事業に流用する等コスト縮減を図っている。		
対応方針	事業継続	
対応方針決定の理由	事業の進捗状況や必要性、地域住民との合意形成、周辺環境への影響を総合的に判断し、全体計画区間を見直し、継続とする。	
事業概要図		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものとす。